

2017年度保護者アンケート調査結果報告

法政大学への満足度は88.0%、入学学部への満足度は76.3%
6割以上(67.9%)が「法政大学を勧めたい」
「満足度」、「推奨度」、「社会的評価」などの肯定的回答が増加傾向

<調査の概要>

- ・調査対象：学部4年生の保護者 6,436名
- ・調査時期：2017年11月～12月
- ・調査方法：郵送
- ・有効回答数：1,577件（回収率：24.5%）
- ・回答者の内訳：父親40.6% 母親58.1% その他1.3%

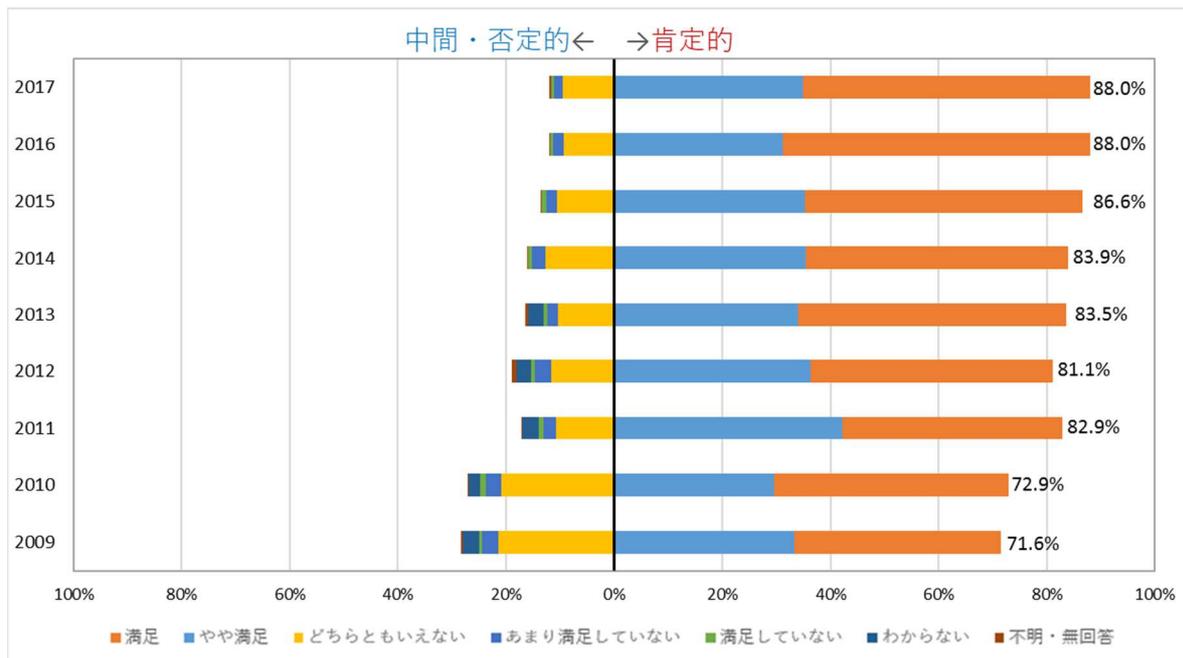
<調査結果>

1 法政大学および入学学部に対する満足度

図1および図2は、「現時点で、法政大学および被保護者の入学学部に対してどの程度満足していますか」との質問に対する回答を経年比較したものです。

法政大学に対する満足度（「満足している」＋「やや満足している」の割合。以下同様に表記）は88.0%、入学学部に対する満足度は76.3%であり、いずれも増加傾向にあります。

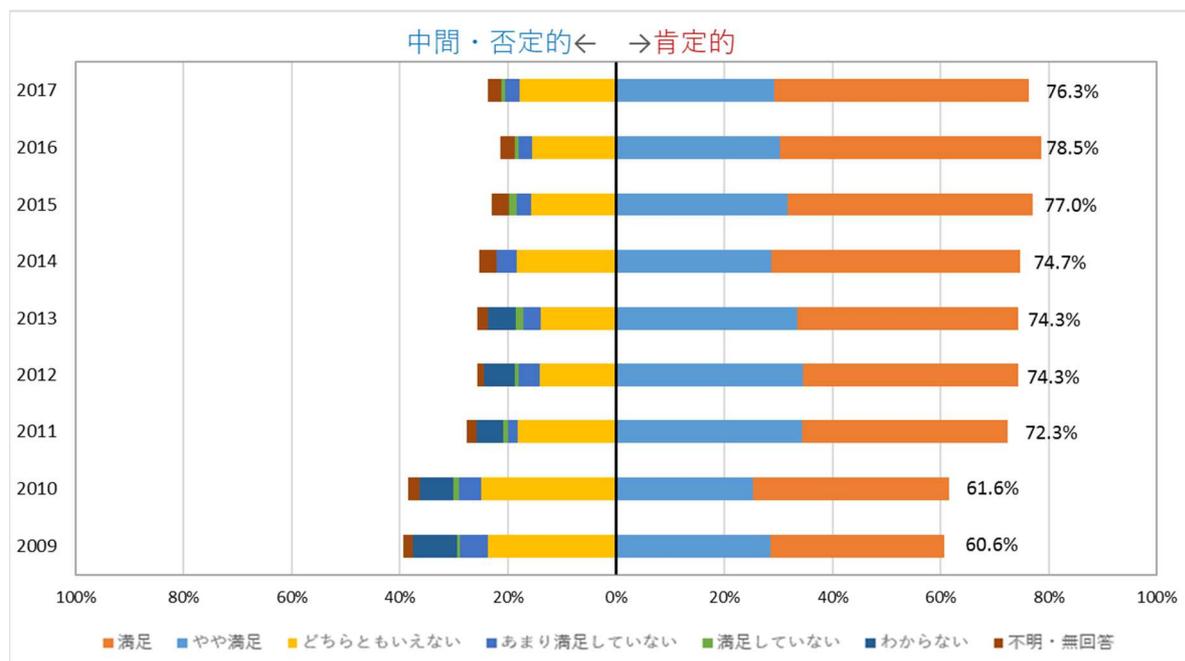
図1 法政大学に対する満足度



※1) 図中のバー右側の値 (%) は、各年度の肯定的回答の割合を示しています。

※2) 「わからない」の回答項目は、2014年度より廃止しています。

図2 学部に対する満足度



※図中のバー右側の値 (%) は、各年度の肯定的回答の割合を示しています。

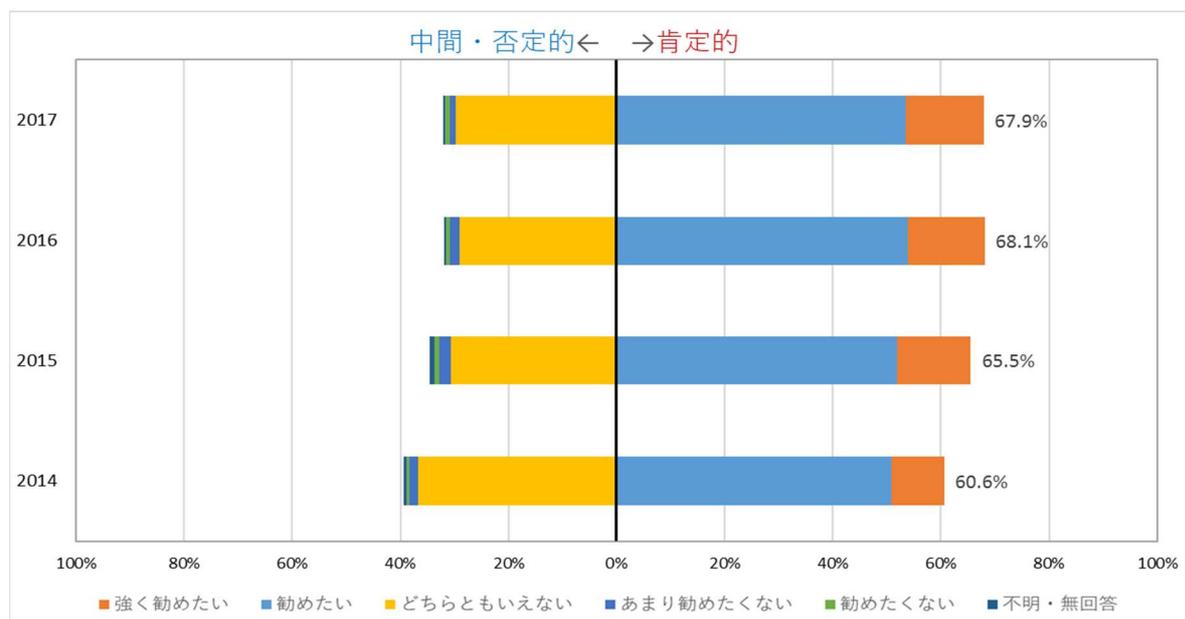
※2) 「わからない」の回答項目は、2014年度より廃止しています。

2 法政大学を勧めたいと思うか

図3は、「もし身近に四年制大学への進学希望者がいる場合、法政大学を勧めたいと思いますか」の質問に対する回答を経年比較したものです。

勧めたい（「強く勧めたい」＋「勧めたい」の割合）と回答したのは67.9%であり、増加傾向にあります。

図3 法政大学を勧めたいか

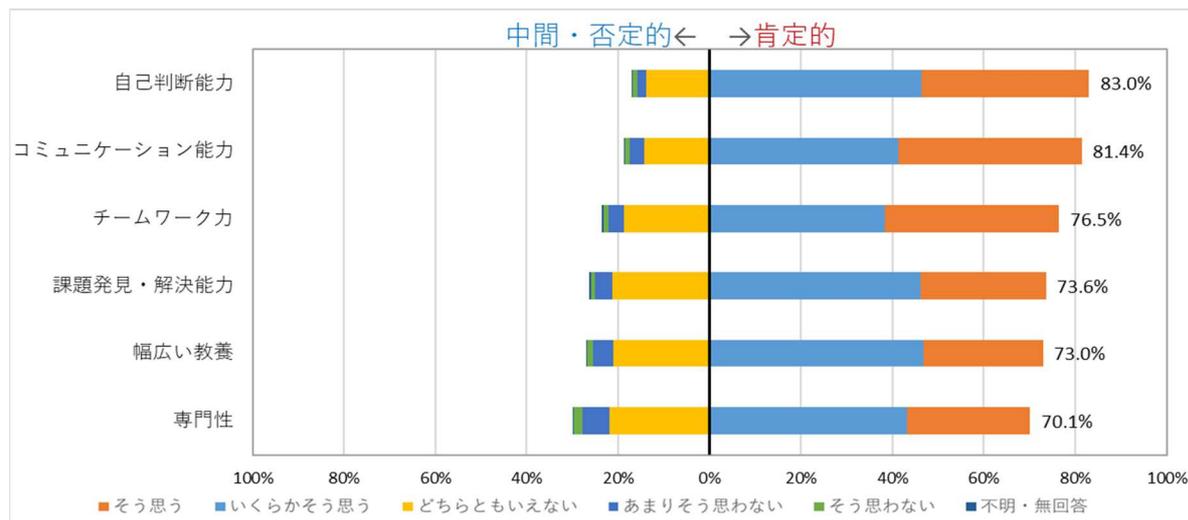


※図中のバー右側の値 (%) は、各年度の肯定的回答の割合を示しています。

3 大学での授業や活動を通して身につけた能力

図4は、「被保護者は大学での授業や活動を通して、以下の能力を身につけることができたと思いますか」との質問に対する肯定的回答の割合（「そう思う」＋「いづらかそう思う」の割合）を集計したものです。「自己判断能力」（83.0%）がもっとも高く、「コミュニケーション能力」（81.4%）、「チームワーク力」（76.5%）と続きます。

図4 大学での授業や活動を通して身につけた能力

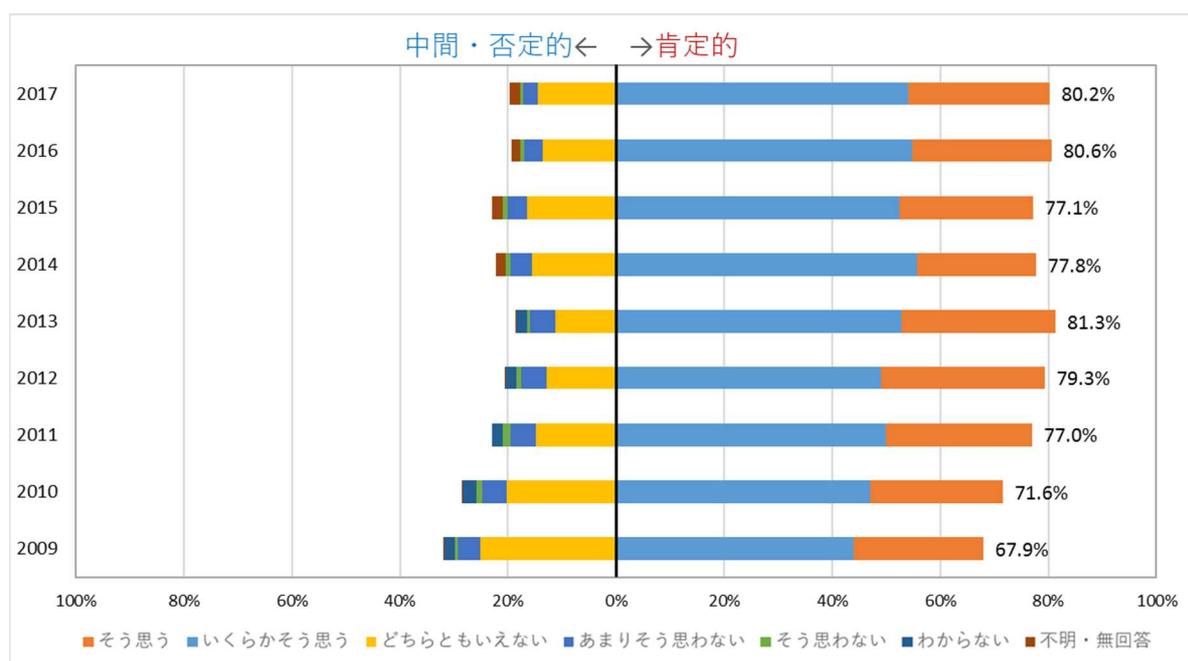


4 法政大学の評価（イメージ）

図5～10は、法政大学の評価（イメージ）についての質問に対する肯定的回答の割合（「そう思う」＋「いづらかそう思う」の割合）を経年比較したものです。

経年推移を見ると、「社会的にも高く評価されている」、「教育研究水準は高い」、「国際交流は活発である」など、いずれの項目も肯定的回答が増加傾向にあります。

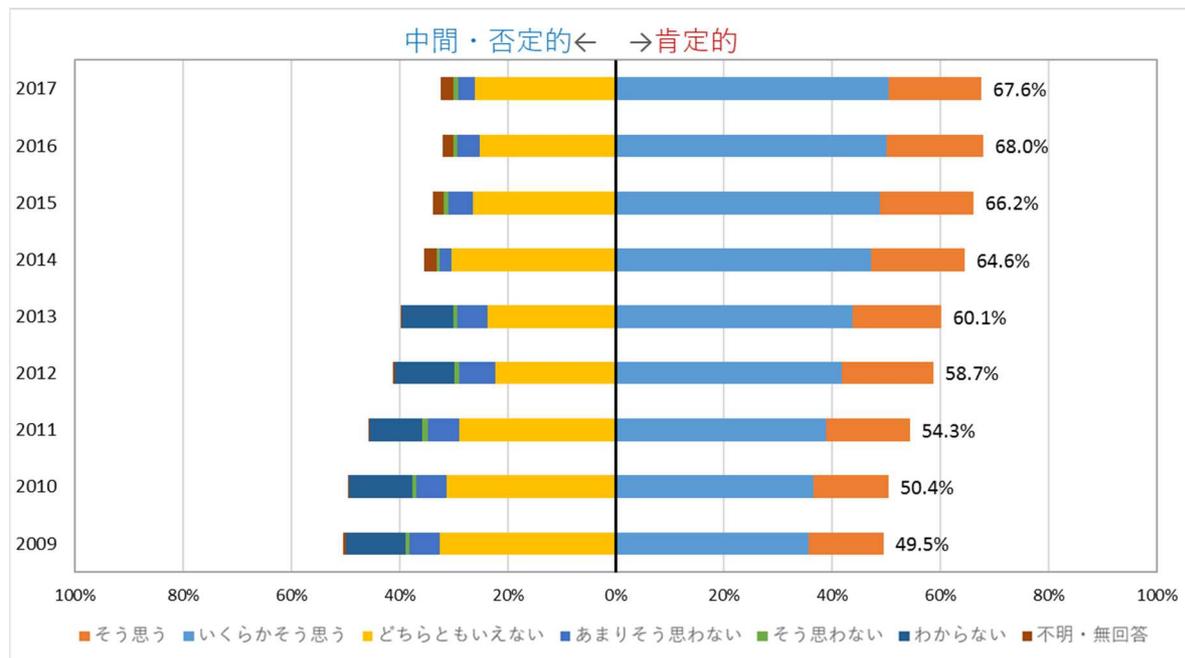
図5 社会的にも高く評価されている



※1) 図中のバー右側の値 (%) は、各年度の肯定的回答の割合を示しています。

※2) 「わからない」の回答項目は、2014年度より廃止しています。

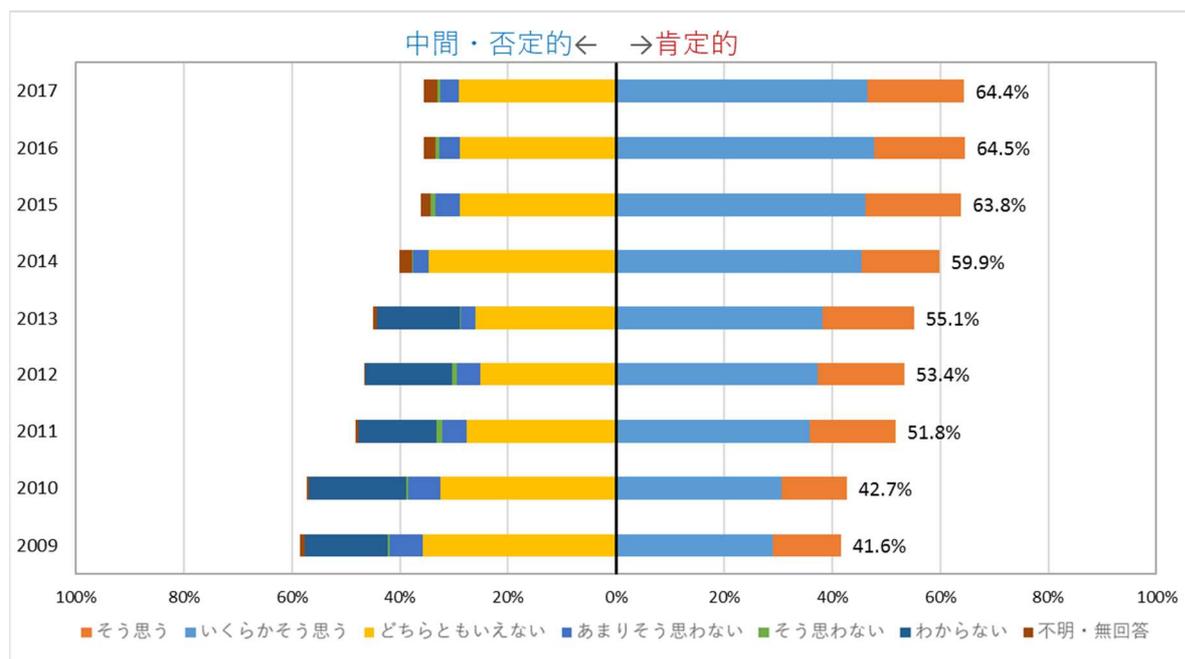
図6 教育研究水準は高い



※1) 図中のバー右側の値 (%) は、各年度の肯定的回答の割合を示しています。

※2) 「わからない」の回答項目は、2014年度より廃止しています。

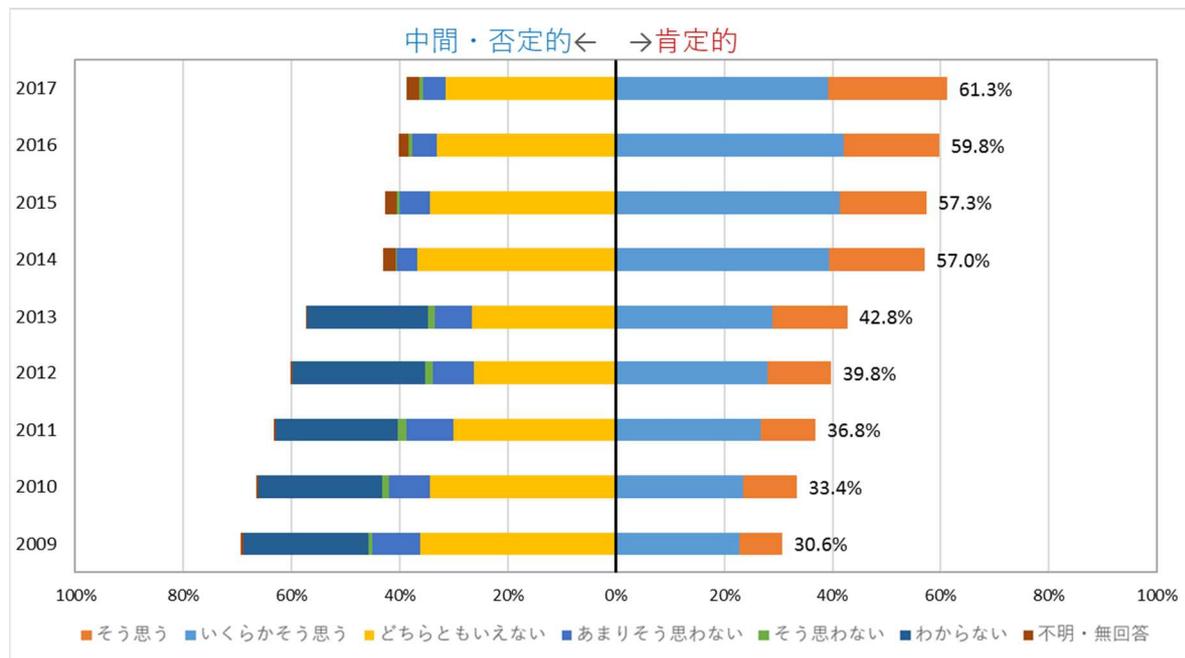
図7 教育研究を通して社会に貢献している



※1) 図中のバー右側の値 (%) は、各年度の肯定的回答の割合を示しています。

※2) 「わからない」の回答項目は、2014年度より廃止しています。

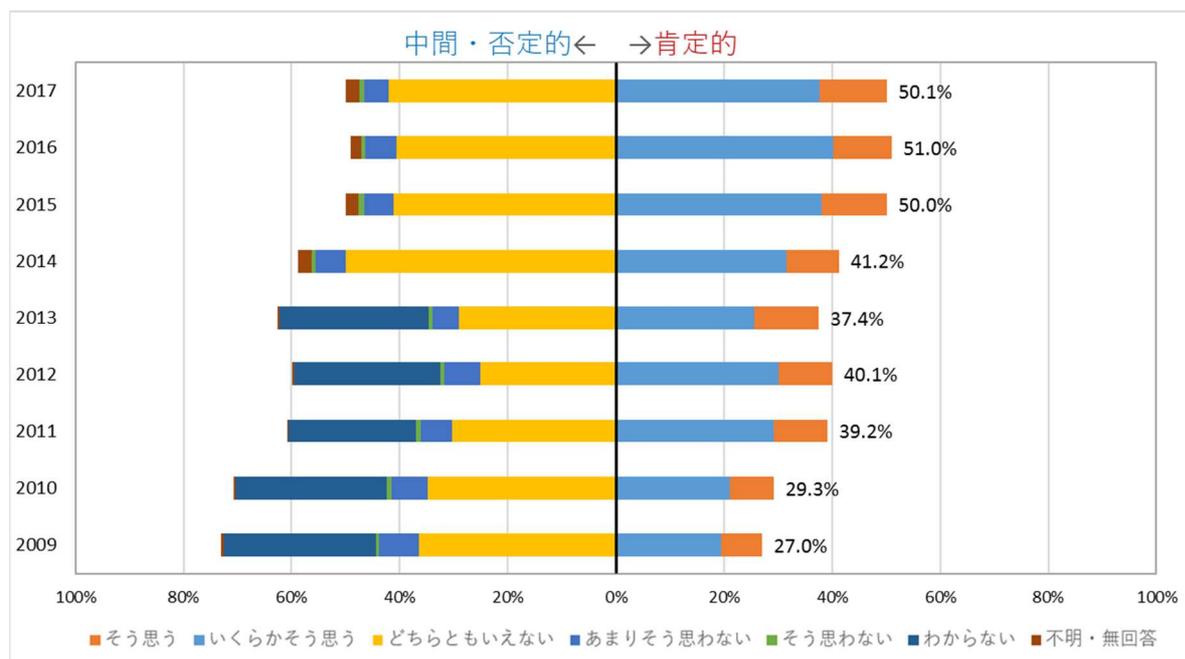
図8 国際交流は活発である



※1) 図中のバー右側の値 (%) は、各年度の肯定的回答の割合を示しています。

※2) 「わからない」の回答項目は、2014年度より廃止しています。

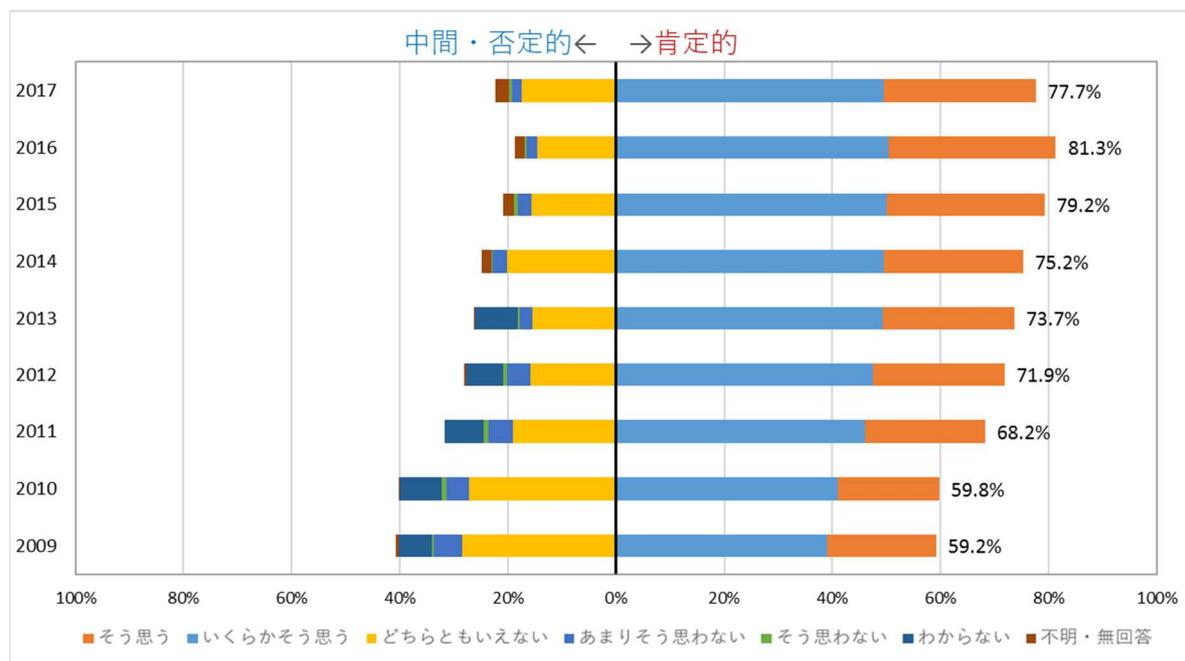
図9 環境への取り組みを通して社会に貢献している



※1) 図中のバー右側の値 (%) は、各年度の肯定的回答の割合を示しています。

※2) 「わからない」の回答項目は、2014年度より廃止しています。

図 10 卒業生は社会的に活躍している



※1) 図中のバー右側の値 (%) は、各年度の肯定的回答の割合を示しています。

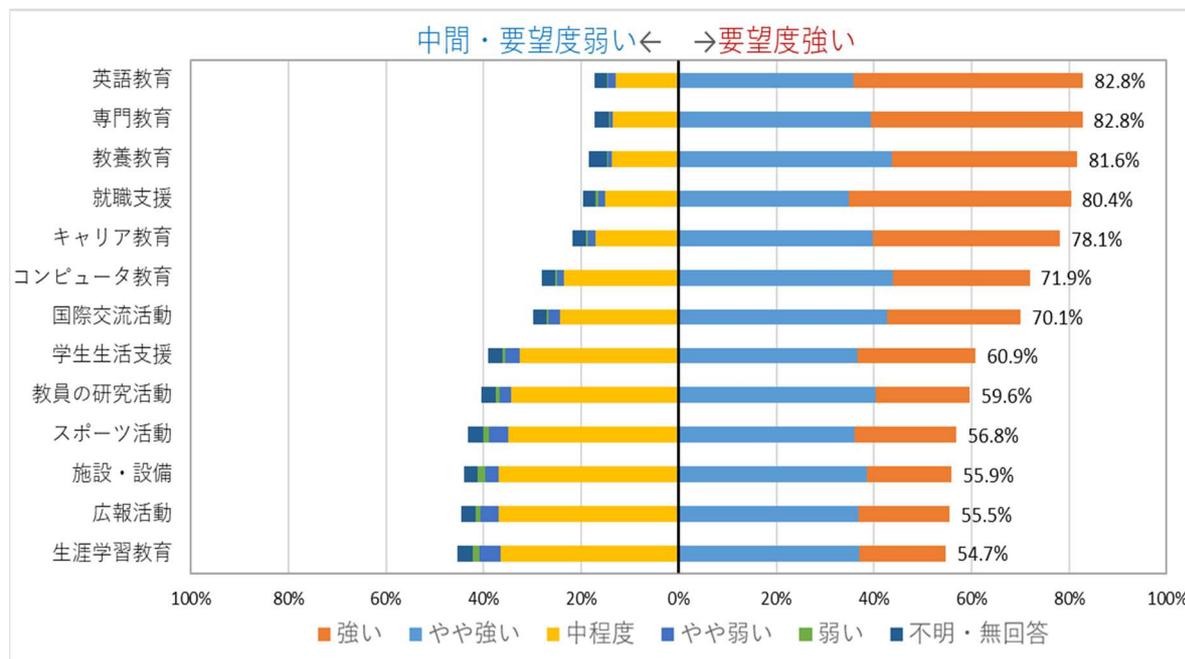
※2) 「わからない」の回答項目は、2014年度より廃止しています。

5 本学が今後さらに充実すべき点

図 11 は、「法政大学が、今後さらに充実すべき点は何だとお考えですか」との質問に対し、項目ごとに充実すべき度合い（「強い」+「やや強い」の割合）を集計したものです。

充実すべき点として、「英語力を高めるための教育」「専門性を高めるための教育」（ともに 82.8%）が最も高く、「教養を高めるための教育」（81.6%）、「就職支援」（80.4%）と続きます。

図 11 本学が今後さらに充実すべき点

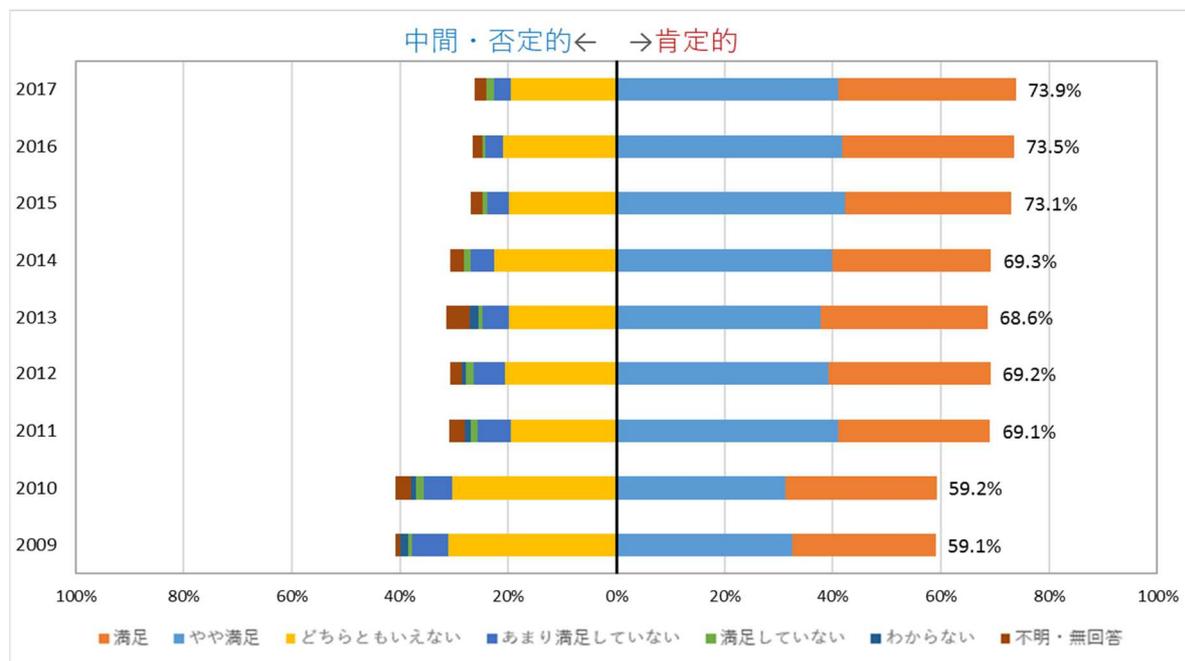


※図中のバー右側の値 (%) は、要望の強い回答者の割合を示しています。

6 情報提供について

図12は、「法政大学からの情報提供に満足していますか」の質問に対する回答を経年比較したものです。「満足度」（「満足している」＋「やや満足している」の割合）は73.9%となっており、経年では増加傾向にあります。

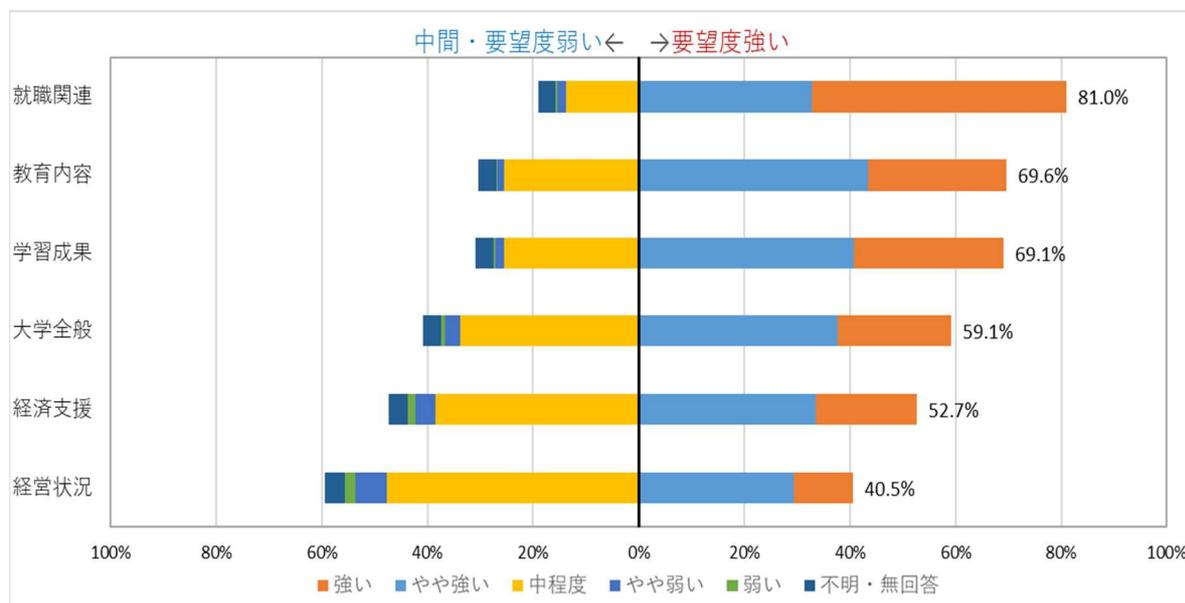
図12 情報提供の満足度



※図中のバー右側の値（%）は、各年度の肯定的回答の割合を示しています。

図13は、「どのような種類の情報をもっと発信すればよろしいでしょうか」との質問に対する、項目ごとに充実すべき度合い（「強い」＋「やや強い」の割合）を集計したものです。「就職に関する情報」（81.0%）を求める声が多く、「教育内容に関する情報」（69.6%）、「学習成果に関する情報」（69.1%）と続きます。

図13 さらに発信を望む情報



※図中のバー右側の値（%）は、要望の強い回答者の割合を示しています。

<最後に>

今回のアンケート調査にご協力を賜りました保護者の皆様に厚くお礼申し上げます。

貴重な回答ならびご意見は関係各所にフィードバックするとともに、大学教育の質向上に向けた資料として活用させていただきます。

今後とも皆様からの幅広いご意見をお待ちしております。

以上